

第6章 災 害

年号	昭二〇	年号	昭二二
二二	九・一七〜一八 枕崎台風 一〇・一二〜一四 阿久根台風 七・二九 暴風雨 一一・二二 南海大地震 午前四時一九分、突如として大地震、屋根瓦	二二三	崩落、灯笼・墓石の倒壊、地割れなど物すこ かった。震源地は熊野灘潮岬の東方四〇キロ メートルの地点 七月〜八月 干害 一〇・四〜六 リビー台風
災	害	災	害

戦後、我が町を襲った災害は、台風によるもの、干害、地震、大雪によるものとさまざまである。なかでも昭和四十七年の台風二〇号、四十九年の同八号、昭和五十一年の同一七号、それに昭和五十四年の同一六号などの集中豪雨は大きな災害を引き起こしている。なかでも昭和五十一年九月八日から十三日まで六日間に及んだ台風一七号による集中豪雨は被害総額二六億円を超え、町民二〇〇〇人が避難する騒ぎとなったが、幸い軽傷者四人を出したにとどまったのは不幸中の幸いであった。

直接・間接に被害をもたらした災害を年表ふうにとめると次のとおりである。

第六章 災 害

年号	災	害	年号	災	害
昭二四	六・一八 デラ台風		昭二九	九・二六 台風一五号	
二五	七・二八 ヘスター台風 七・二七 ヘンリー台風		三〇	九・三〇 台風三二号	
二六	九・三〇四 ジェーン台風 被害大 九・一三 キシア台風 二・一二 昭和六年以来の大害		三一	八・一六〇一七 台風九号	
二七	七・一〇二 ケイト台風 一〇・一四一五 ルース台風		三三	八・二四〇二五 台風一七号	
二八	六・二三〇二四 ダイナ台風 六・七 ジュディー台風 七・一八〇二一 大雨 九・二五〇二六 台風一三号		三四	八・八 台風六号 九・二六 台風一五号(伊勢湾台風) 被害大	
二九	九・一三 台風一二号 暴風雨、大川郡被害大、与田川中央橋流失、水主宮内齋が丸池決壊 (以上『誉水村史』より)		三六	九・三〇四 台風一七号 九・一六 台風一八号(第二室戸台風)	
			三八	四、五、六月の三か月にわたる長雨、麦類の被害額一億九〇〇〇万円	
			三九	九・二四 台風二〇号	
			四〇	九・一〇 台風二三号 九・一七 台風二四号	
			四二	七月〇八月 異常渇水	

年号	災	害	年号	災	害
昭四三	赤くて塩辛い水道騒ぎ 二・一五 大雪 大内ダム五〇センチ、中山三〇センチ、三本松二五センチ。三本松中町のアーケードが雪のため崩壊 (被害の概要) ▽農林関係 三八七〇万円 ▽商工〃 四五〇万円 ▽漁業〃 七九〇万円 合 計 五一〇〇万円 鉄道・バス等交通機関マヒ、電気・電話の不通、水道の断水等被害大 九・一六 台風二〇号 大内町開町以来の被害 (被害の概要) ▽土木関係		昭四九	道路 二〇か所 一二八七万円 河川 八〇か所 五八四三万円 橋梁 六か所 七七〇万円 ▽農林施設関係 農道 七二か所 三一二二万円 溜池 四五か所 四三〇〇万円 水路 一三六か所 五九二〇万円 橋梁 二か所 五五万円 農地 七六か所 七八三万円 林地 六か所 四〇〇万円 農業施設・農作物の被害 四四七五万円 被害総額 二億六九五五万円 七・六 台風八号 集中豪雨 降雨量三〇五・五ミリ、昭和四十七年九月十六日の台風二〇号を上回る被害 (被害の概要)	
四七					

年号	災	害	年号	災	害
	<ul style="list-style-type: none"> ▽床上浸水 一五二〇戸 ▽床下浸水 二〇一戸 ▽家屋の半壊（一部損壊） 一九棟 ▽土木関係 道路 四七か所 二四〇〇万円 河川 一九か所 一億二〇〇〇万円 橋梁 一か所 五〇〇万円 公営住宅 四か所 七〇〇万円 ▽農林関係 農道 二〇〇か所 一億円 溜池 四〇か所 八四〇〇万円 水路 二七〇か所 一億六〇〇〇万円 橋梁 五か所 三〇〇〇万円 農地 四五〇か所 九〇〇〇万円 農作物 一億四〇〇〇万円 ▽水産関係 六〇〇万円 		昭五〇	<ul style="list-style-type: none"> ▽商工関係 九二〇〇万円 ▽半壊家屋（一部損壊） 一九棟 一四億六〇〇〇万円 被害総額 一四億六〇〇〇万円 に及び、災害救助法の指定を受けた 八・二二〜二三 台風六号 集中豪雨 降雨量二二六ミリ、浜町・西浜・東浜など海岸部や低地で浸水家屋が続出した （被害の概要） ▽床上浸水 二三戸 ▽床下浸水 一七五戸 ▽全壊家屋 三棟 ▽土木関係 二か所 二〇〇万円 道路 二か所 河川 八五か所 一億八〇〇万円 ▽農林関係 農道 一か所 一一〇〇万円 	

年号	災	害	年号	災	害
昭五一	<ul style="list-style-type: none"> 溜池 一二か所 一五〇〇万円 水路 一九か所 一二〇〇万円 橋梁 四か所 五〇〇万円 堰 三か所 二〇〇万円 農地 九か所 五〇〇万円 林地 五か所 五〇〇万円 農産物 一一〇〇万円 ▽水産関係 四八〇〇万円 ▽漁港関係 三四〇〇万円 被害総額 三億六〇〇〇万円 に及び、地区民二〇〇人余りが三本松公民館へ避難し、不安な一夜を明かした 九・八〜一三 台風一七号 集中豪雨 九月八日の昼過ぎから降り始めた雨は延々六日間降り続き、降雨量は一年間分にも匹敵する未曾有の一〇九〇ミリであった。十一日 			<p>の夜半には一時間に七五ミリという降雨量を記録し、降り続いた豪雨のすさまじさは言語に絶するものであった</p> <p>被害は町内全域にわたり、低地部では軒並みに浸水し、山間部では大量の水を含んだ山や岸がいたるところで崩れ落ち、池や川の決壊が続出、なかでも丹生北山地区や水主風呂地区では一夜にして無残な姿に変わり、主要道路もことごとく不通となるなど、その被害は開町以来のものであった。</p> <p>中山大池・保田池・原間池などの大きな池や、番屋川・楠谷川なども決壊寸前の危険にさらされたが消防団員、地元関係者らの必死の努力によって難を免れた</p> <p>九月十一日夜には町内全域に避難準備命令が出されて、三高体育館・三地区公民館など</p>	

年号	災 害	年号	災 害
	<p>農地 二四三か所 二億四三〇〇万円 林道 一七か所 一五〇〇万円 農作物 二億八七〇〇万円 ▼水産関係 一三〇〇万円 ▼商工関係(一〇九件) 店舗・倉庫 七九〇〇万円 機械・器具 二七〇〇万円 商品・製品 一億五三〇〇万円 被害総額 二六億八五〇〇万円</p> <p>に及び、特に農林施設に大きな被害があった。このような大水害にもかかわらず、死者・行方不明が出なかったのがせめてもの幸いであった。また、災害救助法の指定を受けたことはない。</p> <p>この豪雨に使用された水防資材及び雨後に配布された防疫資材の概要は次のとおりである。</p>	昭五四	<p>つた 一五五〇〇袋 カマス 三〇〇本 丸太木 一〇〇巻 繩 二二〇〇袋 消石灰 二〇〇〇錠 井戸水殺菌剤 一二〇リットル 便所消毒用クレンジール原液 一二〇リットル 九・三〇 台風一六号</p> <p>昼過ぎから降り始めた雨は、台風の接近と共に次第に雨脚を強め、夕方六時ころから四時間近くにわたって暴風雨となり、低地部に浸水、収穫を目前にした水稲が軒並みに倒れるなどの被害があった。</p> <p>(被害の概要)</p> <p>▼半壊家屋 一〇棟 ▼床上浸水 一六戸</p>

年号	災 害	年号	災 害
	<p>に、およそ二〇〇〇人の町民が避難して眠れない夜を明かした。九月八日から十三日までの日別降雨量は次のとおりである。</p> <p>(全降雨量 1,090mm)</p>		<p>(被害の概要)</p> <p>▼負傷者(軽傷) 四人 ▼全壊家屋 一〇棟 ▼半壊家屋 六二棟 ▼床上浸水 一八一戸 ▼床上浸水 八五五戸 ▼土木関係 六四〇〇万円 道路 五三か所 河川 一一〇か所 三億五七〇〇万円 橋梁 四か所 一八〇〇万円 ▼農林関係 二億四〇〇万円 農道 一四五か所 六億一六〇〇万円 溜池 一八一か所 四億九九〇〇万円 水路 三五五か所 一六〇〇万円 橋梁 一〇か所 九四〇〇万円 堰 三五か所</p>

	年号
▽床下浸水 ▽田畑の冠水 ▽水稻被害 被害総額	災
二一〇戸 三〇ヘクタール 四一七ヘクタール 二億七八〇〇万円	害
	年号
	災
	害